

2-4. 三多気の桜風景保全地区(中景)における景観形成基準の解説

山地景観ゾーンの景観形成基準に、次の景観形成基準が加えられます。
また、景観形成地区(三多気地区)に含まれる区域では、同地区の個別基準も適用されます。

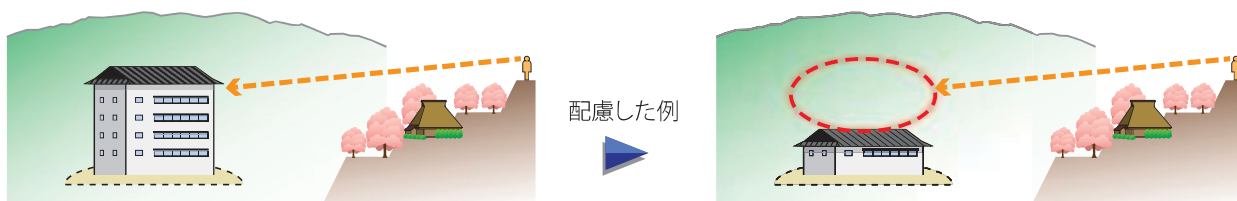
L①ア 規模・配置

三多気の桜風景保全地区(中景)

基準 建築物等の高さをできる限り抑え、視点場からの眺望を阻害しないよう配慮すること。

具体的な配慮内容の例

○できる限り低層に抑えたり、配置を工夫することにより、眞福院や棚田から建築物等が目立ちにくくなるよう工夫する。



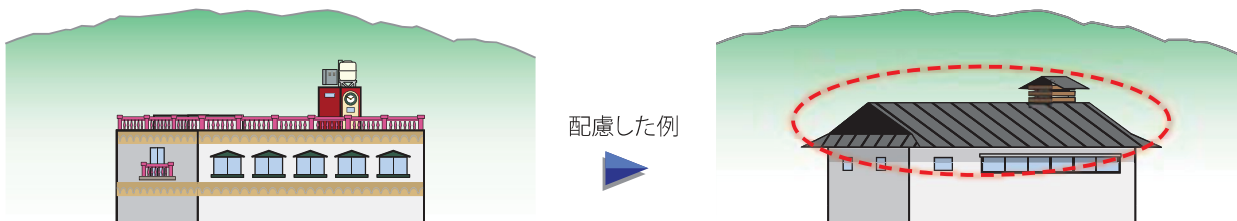
L②ア 形態意匠

三多気の桜風景保全地区(中景)

基準 建築物等の高層部や塔屋への過剰な装飾は避け、視点場からの眺望を阻害しないよう配慮すること。

具体的な配慮内容の例

○眞福院や棚田からの眺望を阻害しないよう建築物の高層部や塔屋はシンプルな形状としたり、設備機器類に囲いを設けるなど、背景の山並みに溶け込ませる。



L③ア 屋根

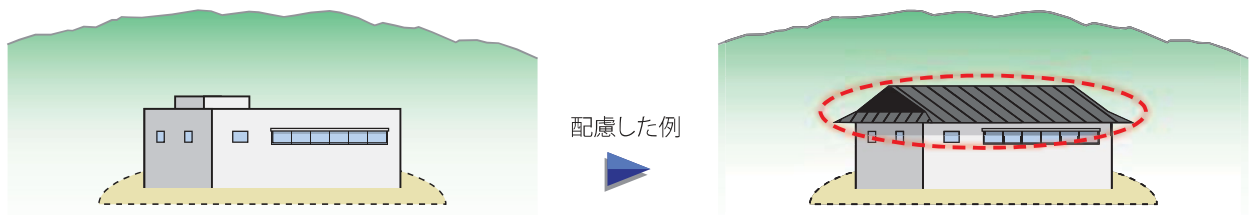
三多気の桜風景保全地区(中景)

基準

主体となる建築物等及び塔屋の屋根は、4/10～6/10勾配のある勾配屋根とするよう配慮すること。

具体的な配慮内容の例

○屋根は、10分の4から10分の6の勾配をもたせ、周辺の建築物や地形と調和するよう勾配の向きや形状を工夫する。



L④ア 色彩

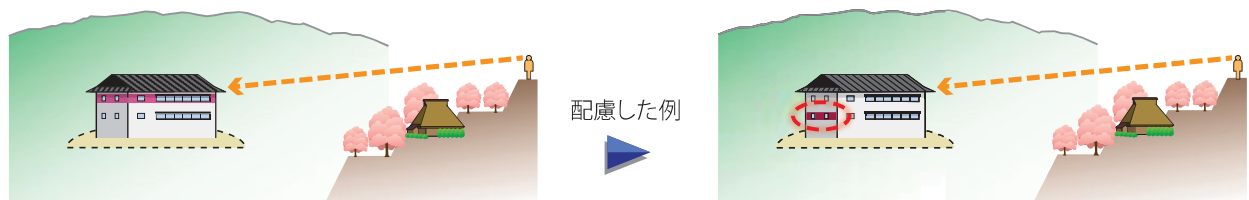
三多気の桜風景保全地区(中景)

基準

アクセント色の使用は、視点場から望見できない部分に限るものとし、良好な眺望景観を阻害しないよう配慮すること。

具体的な配慮内容の例

○アクセント色は、眞福院や棚田から見えない低層部や視点場とは反対側の外壁に限って使用し、建築物を背景の山並みに溶け込ませる。



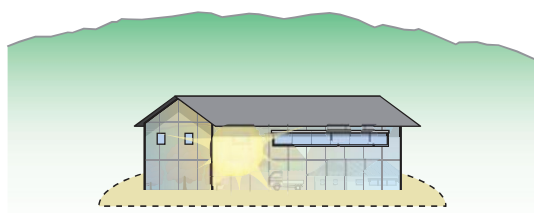
L⑤ア 素材

三多気の桜風景保全地区(中景)

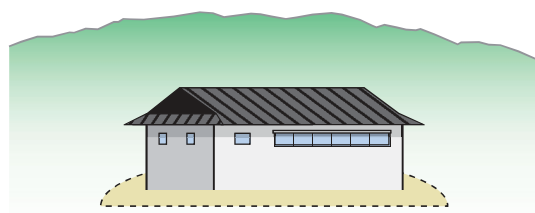
基準 視点場から視認できる部分への反射性素材の使用を避けること。

具体的な配慮内容の例

○眞福院や棚田からの眺望を阻害しないよう、反射性素材の使用は避け、建築物を背景の山並みに溶け込ませる。



配慮した例



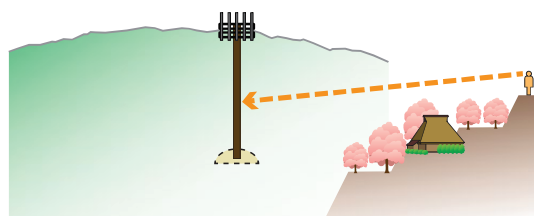
L⑥ア 電気及び通信施設 太陽光発電施設

三多気の桜風景保全地区(中景)

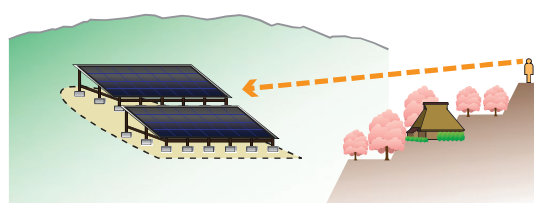
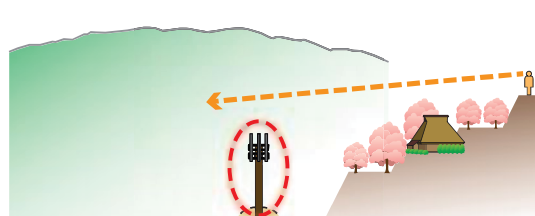
基準 視点場からの眺望を阻害しないよう配慮し設置すること。

具体的な配慮内容の例

○携帯電話基地局や太陽光発電施設等を設置する場合、できる限り工作物や行為に伴う法面等が眞福院や棚田から見えなくなるよう、行為地の選定や工作物の規模、設置の方法等を工夫する。



配慮した例



配慮した例

